

●陶板名画の庭

<p>前回検証結果</p>	<p>要改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の設置趣旨と経過、公共性、利用者にとっての有効性を検証し、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた文化発信事業等において、当施設を幅広く活用できるよう、北山文化環境ゾーンの今後の構想において、他の施設等と連携した文化芸術や北山地域の魅力の発信拠点としての更なる活用など、中長期的な戦略を検討すること。
<p>対応・改善策実施状況</p>	<p>【施設運営等の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の商店街の運営により、効率的で、地域に密着した運営を実施するとともに、隣接する府立植物園や京都学・歴彩館、地元商店街、大学等と連携し、北山通全体の賑わいの創出に貢献できるよう事業を展開。 <p>【具体的施策（利用者(率)拡大の取組など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた文化発信事業等において、当施設を活用できるよう、植物園にて平成29年5月に開門した「北泉門」の活用、同時期にオープンした歴彩館との連携による北山全体の回遊性を考慮した事業など、今後の北山エリアの整備と併せ事業を展開。 ・安藤忠雄氏の設計による施設を目的とした外国人観光客（特に台湾・中国）が増加しており、更なる増加に向けて、宿泊施設やタクシー等へのチラシ配布、旅行会社向けのホームページの構築等の情報発信や広報の強化等を実施。 ・北山地域の発信拠点としての幅広い活用を図るため、平成30年度からプロフィットシェアリング（自主事業の拡大及び納付金制度）を導入。
<p>取組の結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成28年度と比較し、令和元年度の利用者数は、 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が約25%減少 ◇若者のSNS発信の効果により、令和2年度2月・3月の来園者数は、令和元年度2月・3月来園者数と比べ約2.4倍増加。
<p>なお残る課題・問題点</p>	<p>◆設置から27年が経過しており、施設の老朽化が進行</p>
<p>府民サービス等改革検討委員会による改善意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □水垢やクラックなど劣化が始まっており、今後の修繕やメンテナンスコストの試算が必要である。 □近年はSNS効果で若者の来場者が増加しているが、今後発生する施設維持管理コストを勘案すれば、このまま継続し続けるのかどうか考え直す段階にきている。 □今後進展する北山エリアの整備の中で、本施設を単体で管理するのではなく、総合的な運営管理等を検討されてはどうか。

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 要改善 </div> <p><改善方策></p> <p>◎老朽化の進行により、施設改修が必要となることから、設置目的や経過に、今後の費用負担も含めて検証し、今後の北山エリアの整備基本計画も踏まえ、中長期的な施設のあり方を検討すること。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><今後の対応></p> <p>○当初の設置目的と経過を踏まえながら、老朽化した施設・設備の改修・更新も含め、利用者にとっての有用性を検証していく。</p> <p>○北山エリア整備基本計画を踏まえながら、中長期的なあり方を引き続き検討する。</p>
-----------------------	--